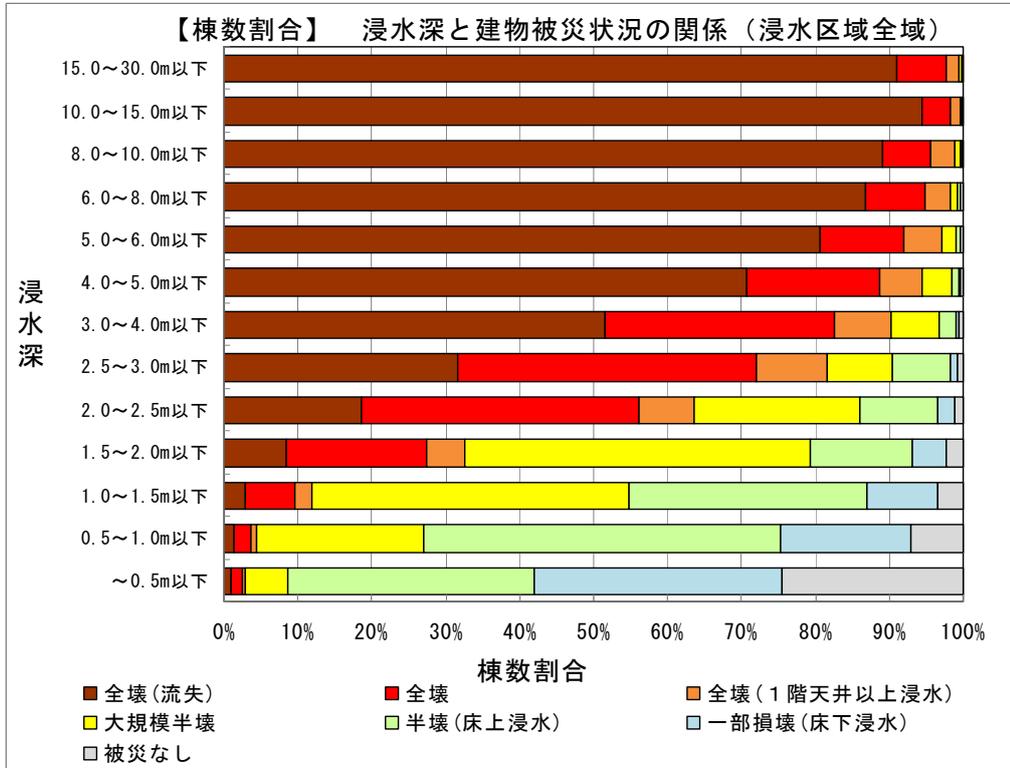
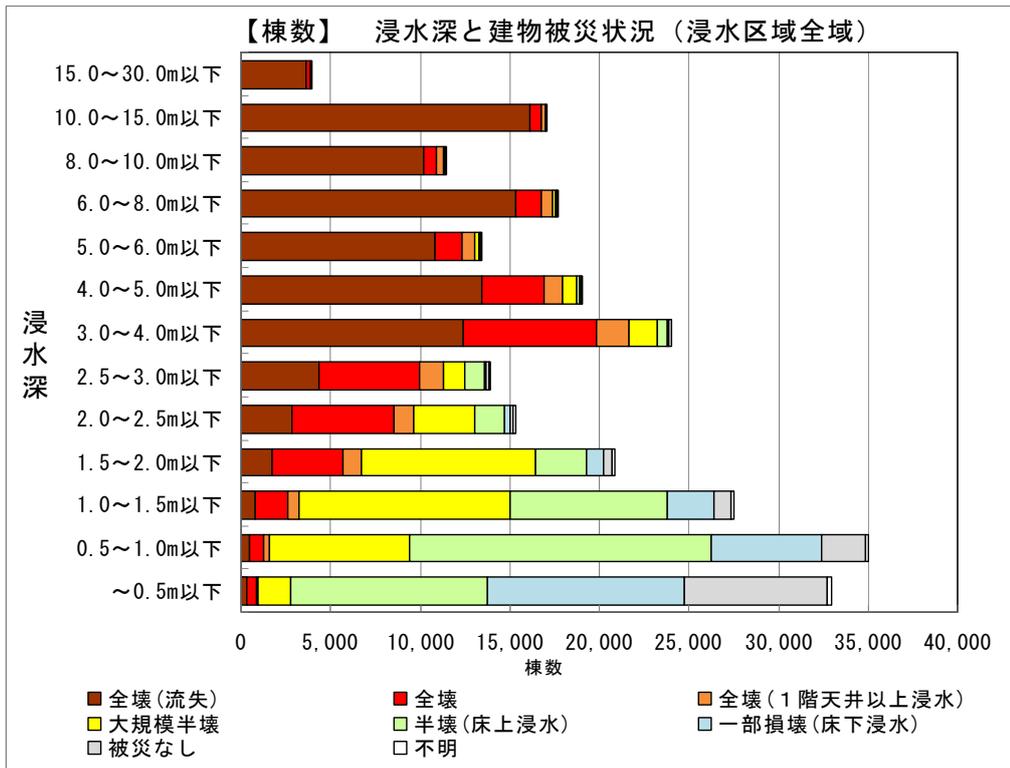


1. 浸水深と建物被災状況の関係

浸水区域全域における浸水深ごとの建物被災状況は下記の通り※。

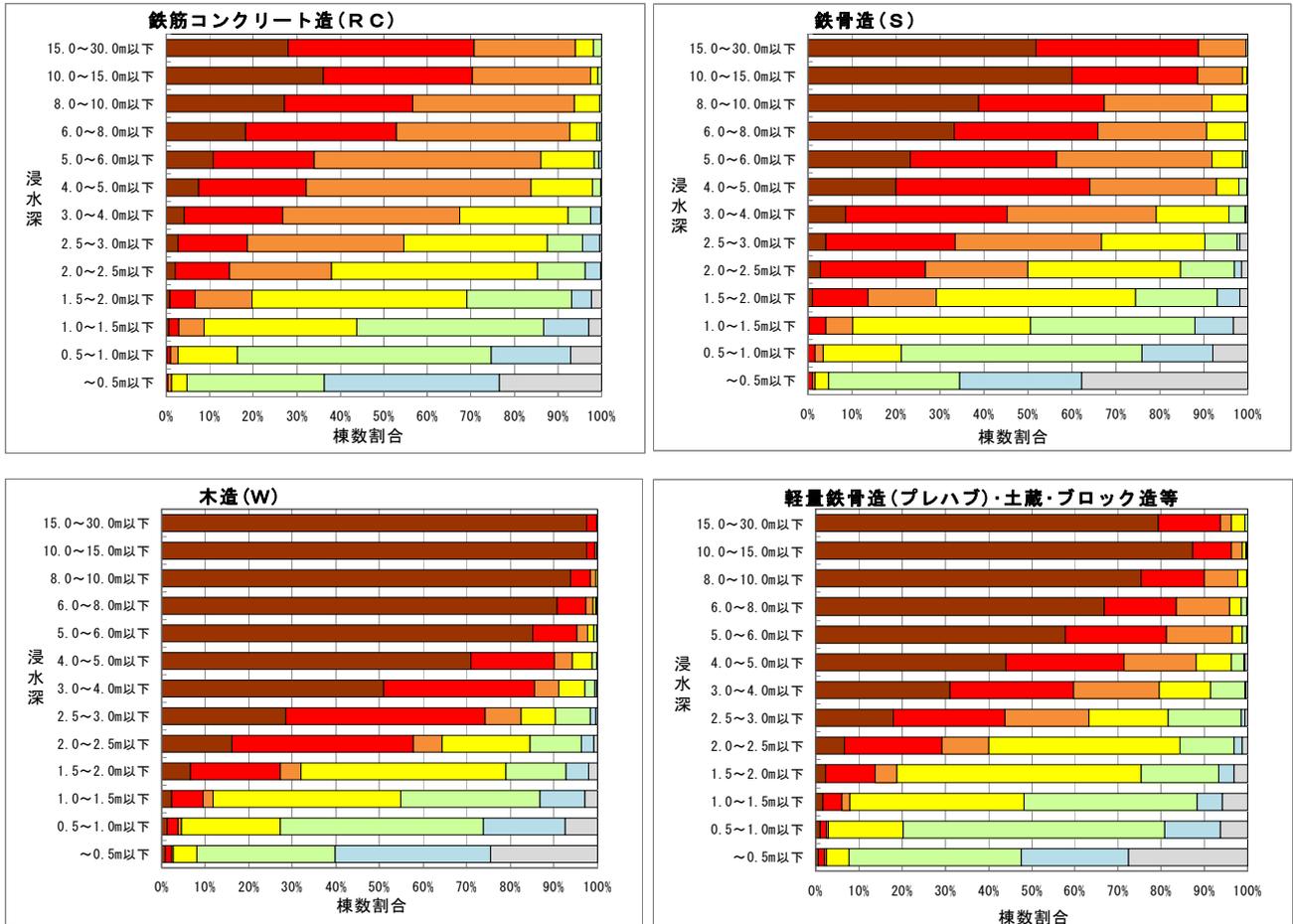


(参考) 浸水深と建物被災状況の棟数分布



2. 建物構造別の浸水深と建物被災状況の関係

浸水区域全域における浸水深と建物被災状況の関係を建物の構造別に整理した結果は下記の通り※。



- 凡例
- 全壊(流失)
 - 全壊
 - 全壊(1階天井以上浸水)
 - 大規模半壊
 - 半壊(床上浸水)
 - 一部損壊(床下浸水)
 - 被災なし

※被災現況調査では、現地調査等に基づき、被災した建物を「全壊(流失)」「全壊」「全壊(1階天井以上浸水)」「大規模半壊」「半壊(床上浸水)」「一部損壊(床下浸水)」に6区分している。区分の判定は原則として目視調査による。

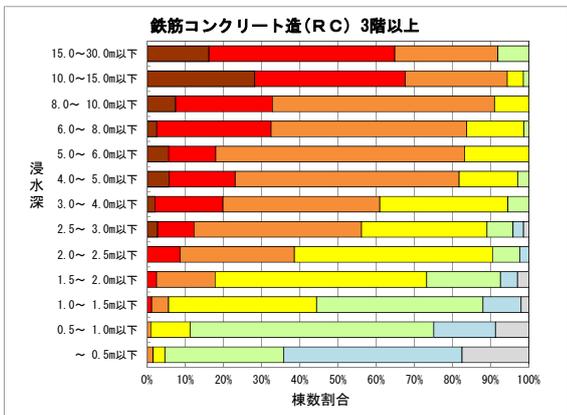
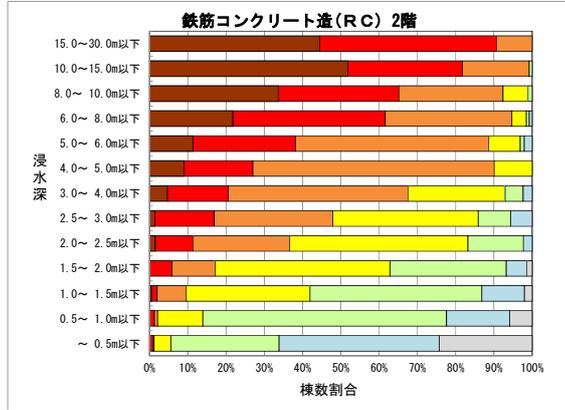
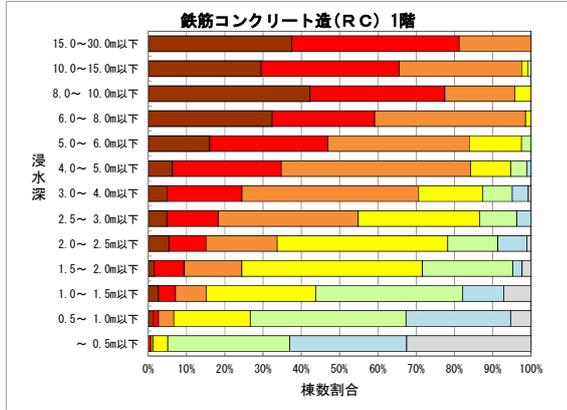
※浸水深と建物被災状況の関係分析においては、浸水深 0.0m や浸水深不明等における被災建物は対象から除いている。

※個々の建物の浸水深は基本的には100mメッシュ単位で把握している。なお、国土地理院により災害復興計画基図が整備されている地区等においては、地形を加味した精査を行い、個々の建物の浸水深を5mメッシュ単位で把握している。

3. 建物構造別・階数別の浸水深と建物被災状況の関係

浸水深と被災状況との関係を構造別・階数別に見ると、各構造別で、3階以上建は、1階建及び2階建と比べ、「全壊（流失）」「全壊」の区分の合計割合が低い。

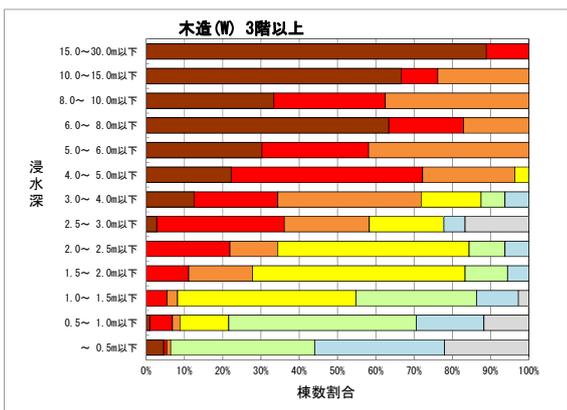
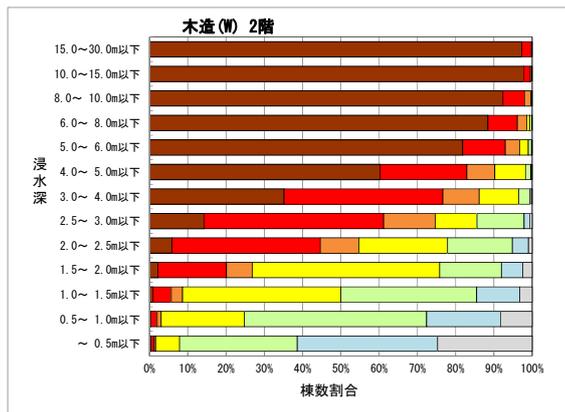
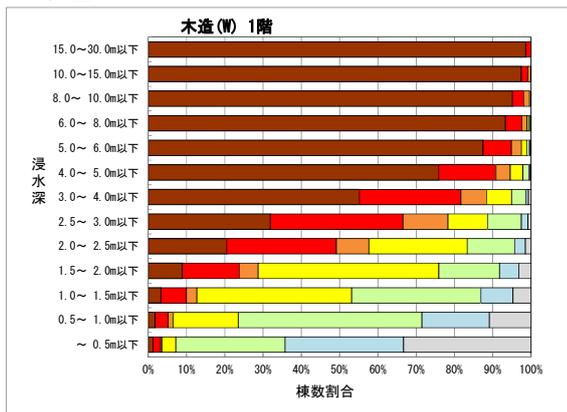
<RC造>



凡例

- 全壊（流失）
- 全壊
- 全壊（1階天井以上浸水）
- 大規模半壊
- 半壊（床上浸水）
- 一部損壊（床下浸水）
- 被災なし

<木造>



凡例

- 全壊（流失）
- 全壊
- 全壊（1階天井以上浸水）
- 大規模半壊
- 半壊（床上浸水）
- 一部損壊（床下浸水）
- 被災なし